

信楽高原鐵道の経営再生にかかる進捗状況等について

1 鉄道事業再構築実施計画について

○H25.3.4 国土交通大臣が鉄道事業再構築実施計画を認定

【鉄道事業再構築実施計画】

申請者： 甲賀市、信楽高原鐵道、滋賀県
計画内容： ①事業構造の転換(甲賀市:鉄道施設を保有し施設維持管理費用を負担、
信楽高原鐵道:列車を運行)【上下分離方式】
②地域による利用促進策の実施
実施期間： 平成25年度から平成34年度までの10年間
実施効果： ①信楽高原鐵道における鉄道施設等の維持管理費用の負担軽減
②地域と連携した積極的な増収施策等の展開による、
収支均衡と安全で安定した運行の維持

○H25.4.1 「公有民営方式」の上下分離による運行開始

2 旅客輸送実績

() 内は1日当たり換算

	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
通学定期	293,940 人 (805 人)	263,940 人 (723 人)	△30,000 人 (△82 人)
通勤定期	60,360 人 (165 人)	57,900 人 (159 人)	△ 2,460 人 (△ 6 人)
定期外	130,078 人 (356 人)	116,547 人 (319 人)	△13,531 人 (△37 人)
合 計	484,378 人 (1,327 人)	438,387 人 (1,201 人)	△45,991 人 (△126 人)

- ・少子化による学生利用の減等により、定期利用者数が減少。
- ・H27年度は「陶芸の森」と連携した特別列車（マイキートレイン）の運行により利用増であったが、H28年度は平年並みとなったことによる、定期外利用者数の減。

3 経営状況

(千円)

	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
経常収入	163,147	160,634	△ 2,513
うち旅客収入	102,423	91,124	△ 11,299
経常費用	153,075	153,416	341
経常利益	10,072	7,218	△ 2,854

上下分離方式への移行後、4年連続で経常黒字を達成。

4 平成28年度の主な取組について

○安全な輸送サービスの提供

【甲賀市】新型車両導入（H29.2.5 営業運転開始）

従来型車両 2 両の SHINOBI-TRAIN のラッピング

（H29.2.25 営業運転開始）

車庫改修、枕木交換、列車無線設備更新

【信楽高原鐵道】旅客輸送業務、鉄道施設等の保守・維持管理



信楽高原鐵道
SHINOBI-TRAIN

○経営改善・合理化の推進

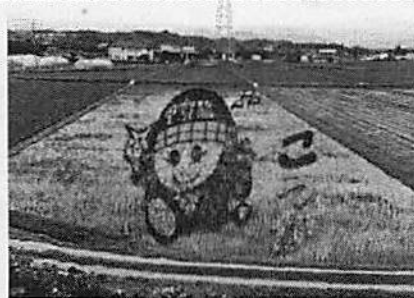
【信楽高原鐵道】経営改善委員会、人件費の縮減、経費節減

○鉄道の利用促進

【信楽高原鐵道】地元観光イベント・旅行会社と連携した営業活動、田んぼアート、ふれあいハイキング（JR西日本と連携）、鉄道沿線修景（植栽等）事業、「新春伊勢神宮」、「陶製干支切符」の販売、「まちなか芸術祭」への事業協力



【新型車両（501号車）出発式】（H29.2）



【にんじゃえもん田んぼアート】

5 平成29年度の主な取組について

【甲賀市】

○枕木交換、橋梁改良、信楽駅ホームの嵩上げ

【信楽高原鐵道】

○旅客輸送業務、鉄道施設等の保守・維持

○鉄道の利用促進

- ・観光客向けのノベルティやグッズ開発
- ・旅行会社、バス会社への営業活動
- ・牛飼地区での「たんぼアート」事業による沿線景観の創出
- ・駅前陶器市と連携した観光誘客

【信楽高原鐵道 30 周年を記念した取組】

- ・「えんとつ町のプペル展 in 滋賀」と連携したラッピング列車の運行等
- ・七夕の時期に「くもい竹宵の夕べ」のイベント実施